



能義地区のイチオシ!

まちの タカラ

住民に寄り添う健康づくり活動 ～能義地区健康推進会議～



▲年に1度開催される健康講座の様子。幅広い年代に参加してもらうため令和4年度は2回開催。

◀令和2年度には、長年にわたる公衆衛生活動に対し「日本公衆衛生協会会長表彰」を受賞。表彰状を持っているのが國重会長です。

「能義地区健康推進会議」が令和4年度に、長年の活動と功績を表彰する「公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰」を受けることとなりました。市内の健康推進会議として6例目、9年ぶりの受賞です。

能義地区健康推進会議は、健康づくり活動を地区全体で取り組むことが必要という考えから、平成15年に設立されました。親子保健部会と成人高齢者保健部会を中心に、住民参加型の活動を行っています。

特に特徴的な活動は2つ。1つは、自治会単位での健康目標の設定と集会所への掲示です。毎年目標設定し成果発表をすることで、お互いに良い刺激になり、中でも禁煙に関する取り組みは活発に行われ、多くの自治会で集会所の喫煙ルールなどができました。

もう1つの特徴的な活動は、ゴミブリ団子の無料配布。「能義地区内のゴミブリ撲滅!」を目標に、約120袋分の団子を作成。希望者には無料で配布することで使用家庭を増やし、今ではほとんどゴミブリを見かけないほどに。個人の努力だけでは難しい環境的な問題の解決にもつながっています。

國重光美会長は「今はまだ健康に興味がある人だけが参加し恩恵を受けている状態です。今後、能義地区全ての人が参加して健康づくりをしていけるよう、まずは意識から変えていきたいです」と話していました。

編集後記

▼ダンスというとフォークダンスのイメージしかなかったのですが、競技大会の動画を見て、ダイナミックな動作に圧倒されました。スタンダードとラテンという部門で表現方法が全く違うという話や、個人はもちろん、ペアで合わせたときの美しさが大切といった話を聞き、奥が深い競技であると感銘しました。(右)

▼ユズは捨てる場所がない。ユズを丸ごと使った加工品作りで講師の人がおっしゃっていました。果汁はポン酢にし、果汁をしぼりきった皮はマーマレードに。種までは使えないだろうと思っていたのですが、保湿成分たっぷりのユズの種は焼酎に漬けておくことで、なんと化粧水になるんだそうです。(三)

安来市の人口と世帯数 R5.1.31現在

人口合計 / 36,314人
(男:17,483人 女:18,831人)
世帯数 / 14,226世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等については、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。